



FーアキーPB  
(日本の小説)

2021年8月

## 『謎を買うならコンビニで』

あきう すいな  
秋保 水葉 作

(講談社)

コンビニで起きた店員不審死事件の犯人捜しを依頼された高校生探偵・春紅が、事件のあったコンビニにアルバイトとして潜入調査をします。バイト仲間を知らなければ知るほど疑心暗鬼になりますが、それでも優れた推理力で謎を解いていきます。誰が、何のために、24時間営業のコンビニで事件を起こしたのでしょうか。

中高生にも馴染みのあるコンビニが舞台の物語で、コンビニ勤務経験のある作者ならではのトリックが楽しめます。



Fーオノ  
(日本の小説)

2021年8月

## 『とにかくにも ごはん』

おの でら ゐみのり  
小野寺 史宜 作

(講談社)

子どもの貧困が社会問題となっている今、話題に取り上げられることが多かった「子ども食堂」を舞台に、そこで働くスタッフ、訪れる人々の想いや交流を描いています。訪れる人たちは、子ども食堂を運営する松井波子の優しさに触れて、次第に変わっていきます。温かいご飯を誰かと一緒に食べる、そんな時間と場所の大切さを改めて感じさせてくれます。

子ども食堂のことをあまり知らない方にも、おすすめの本です。

★「読みたいな」と思った本の予約・問い合わせは、下の図書館までお願いします。

|       |               |                     |
|-------|---------------|---------------------|
| 中央図書館 | ☎072-627-4129 | 畑田町1番51号            |
| 中条図書館 | ☎072-622-2476 | 東中条町2番13号           |
| 水尾図書館 | ☎072-637-4416 | 水尾三丁目3番18号          |
| 庄栄図書館 | ☎072-620-1171 | 庄二丁目26番12号          |
| 穂積図書館 | ☎072-620-1056 | 松ヶ本町8番30号 イオンモール茨木内 |

編集・発行：茨木市立図書館

発行日：令和4年(2022年)10月

\*本の表紙は出版社の許諾を得て掲載しています。



この印刷物は、10,000部作成し  
1部あたりの単価は8.88円です。

令和4年(2022年) 秋・冬号



おもしろい本  
みつけた!

## 《中学生・高校生》



1年の間に図書館に入った本を中心に、幅広く  
おもしろい本を紹介します。

★ホームページにものっています。

気になる本をみつけたら、  
さっそく探してみよう!



茨木市立図書館  
おすすめ本のページ



646-21  
(飼鳥)

2021年3月

## 『ダチョウはアホだが役に立つ』

つかもと やすひろ  
塚本 康浩 作

(幻冬舎)

ダチョウは世界最大の鳥でありながら、脳のサイズは自身の目よりも小さく、カラスに自分の肉をかじられていても、平気でエサを食べています。そんな「ちょっとざんねんな生き物・ダチョウ」に注目し、研究を始めたのがこの本の作者です。

ダチョウ研究の悲喜こもごもな日常や、感染症・免疫システム・抗体などを、関西弁でユーモアたっぷりに説明していて、科学的コメディ本とも言えるおもしろさです。



茨木市立図書館



K040  
(雑学)

2021年7月

## 『大人も知らない？ふしぎ現象事典』

「ふしぎ現象」研究会 編  
ヨシタケ シンスケ 絵 (マイクロマガジン社)

「見ちゃダメ！」と言われるとよけいに見たくなる、「期間限定」と書いてあるとつい買ってしまう……。私たちの身の回りによくあるけれど、名前を知らない「ふしぎ現象」をたくさん紹介している本です。多くの人が体験したことがある「あの現象」の名前や由来を楽しみながら知ることができます。

今まで知らなかったモノや現象の「名前」を知ることで、見え方が少し変わったり、もっと知りたくなるかもしれません。あなたの世界を広げてくれるのではないのでしょうか。



ニートオ  
(日本の小説)

2021年5月

## 『告白プロデュース！「代告屋」結成しました！？』

とおや 十夜 原作 ココロ直 作 (PHP研究所)  
モゲラッタ 絵

冷静沈着なユウ、人気者のリョウ、情報通のゼンの3人は、ユウの片思いをきっかけに、秘密の部活『代理告白株式会社』、通称『代告屋』を結成します。

結成後に初めて来た依頼は、気弱な男子に代わり、ラブレターを書くことでした。ラブレターは完璧に書けたはずでしたが、相手の女子から返ってきたのは白紙の手紙でした。告白は失敗してしまったのでしょうか？

思わぬ壁にぶつかりながらも、ユウたちはそれぞれの特技や個性を生かして切り抜けます。恋愛だけでなく、ミステリー要素もある物語です。



K150  
(人生訓)

2021年10月

## 『明日のカルタ 学校では教えてくれない人生を楽しむ46の方法』

くらもと みつる 倉本 美津留 作 (日本図書センター)  
あさくら せかいいち 朝倉 世界一 絵

「【ふ】『ふつうじゃない！』といわれたらチャンス！」  
「【ゆ】夢はかなう。寝ていても起きていても。」

気分がネガティブになっていても、考え方や視点を変えてみるだけで、ポジティブに変えることができます。

普段の生活を、前向きにとらえられることができるような短い言葉が、カルタ形式でつづられているので、どこからでも楽しく飽きずに読むことができます。

悩み多き10代のみなさんに読んでほしい本です。



ニーイノ  
(日本の小説)

2021年9月

## 『アイドルが好き！』

イノウエ ミホコ 作  
くまぞう 絵 (くもん出版)

中学2年のタマキは、K-POPアイドルの大ファンです。推しのことになると夢中になってしまうタマキは、友達の桜子に突っ込まれつつ、ファン仲間のユマと交流を楽しみ、ワクワクしながら日々を過ごしています。

夏休みに、タマキと桜子は、韓国で行われる短期留学に参加し、ユマも同時期に韓国旅行へ出発します。3人はそこで、韓国の言語や文化に触れ、さらには両国の間にある考え方の違いを知り、自分で考えることの大切さを自覚します。「好き」という気持ちをきっかけに世界が広がっていく、ポップで熱い物語です。



ニーナル  
(日本の小説)

2022年1月

## 『この空のずっとずっと向こう』

なるみ ふう 鳴海 風 作 (ポプラ社)  
おとない ちあき 絵

明治4年、岩倉貞視が率いる岩倉使節団に同行し、アメリカ合衆国やヨーロッパに渡った5人の少女たちがいました。その中の一人である吉益亮子をモデルにした「そら」という少女の物語です。

鎖国状態にあった江戸時代の日本で、そらはどのような生活を送り、外国で学ぶことを夢見るようになったのでしょうか。幕末から明治時代への激動の時代を描いた作品です。



292-21  
(地誌)

2021年12月

## 『JK、インドで常識ぶっ壊される』

くまがい 熊谷 はるか 作 (河出書房新社)

インドと言えば、カレー、ターバンを巻いたおじさんを思い浮かべる人が多いかもしれません。そんなインドに、突如身を置くことになった著者が、中学生からJK(女子高生)までの間に過ごしたインドでの暮らしを、快活、軽快、時に真摯に綴っています。

タピオカもプリクラもなく、お手伝いさんや専属運転手がいる日常、すぐそばにある人種問題や貧困。本書から著者のインド生活を追体験することで、インド社会だけでなく、わたしたちの暮らしす日本社会も考えることができます。